

学 会 記 事

◎第 11 回理事会 (昭.34. 4.21) 出席者: 篠原, 本間両副会長, 高野, 比田, 小野, 渡辺, 西嶋, 井口, 中安の各理事。議事: 1) 3 月中の各報告事項, 2) 34 年度会長, 副会長 1 名, 理事 5 名改選のため, 次のとおり理事候補者詮衡委員会を設けることとなつた。委員長: 内海前会長, 委員: (建設省) 尾之内由紀夫, 中安米蔵, (国鉄) 渡辺寅雄, 仁杉 巖, (大学) 国分正胤, 米元卓介, (通産省) 篠原 清, (運輸省) 比田 正, (業界) 飯吉精一の諸氏。3) 支部役員交代につき次のとおり委嘱すること。西部支部 支部長: 田代信雄 (九州電力 K K 土木部長), 地区常議員: 坂田静雄 (再任), 田賀秀和 (再任), 江里口正夫 (再任)。中部支部 支部長: 大谷 英 (愛知県土木部長)。4) 広島における通常総会, 第 14 回年次講演会, 見学会等の期日の変更を次のとおり承した。6 月 13 日 (土) 総会・講演会第 1 日 (会場変更なし), 懇親会 (平和記念館を農協ビルに変更), 6 月 14 日 (日) 講演会第 2 日 (会場変更なし), 6 月 15・16 日見学会コース変更なし。

5) 夏季講習会の次の計画を了承した。

題名「トンネルと掘さく工法」

期日: 昭和 34 年 8 月 27 日 (木), 28 日 (金), 29 日 (土) の 3 日間

会場: 日本大学の予定

会費: 800 円の予定 (「トンネルと掘さく工法」講演集をふくむ) 講演題目と講師スケジュール

第 1 日 (8 月 27 日 (木))

9.00~10.00	新しいトンネル工法	熊谷 組	加納 俊二
10.00~11.00	トンネルの地質調査	鉄 研	宮崎 政三
11.00~12.00	トンネルの安全対策	京 大	村山 朔郎
13.00~14.00	トンネルの換気方式	土木研究所	伊吹山四郎
14.00~15.00	トンネルの換気設備とその管理		

15.00~16.00	トンネルの掘さく機械設備	日立製作所	弘田 広利
16.00~17.00	トンネルの覆工	国鉄施設局	小竹 秀雄
		札幌工事局	坂本 貞雄

第 2 日 (8 月 28 日 (金))

9.00~10.00	大発破工法について	鹿島建設	佐藤忠五郎
10.00~11.00	ダムの地質とその掘さく工法	電 研	田中 治雄
11.00~12.00	超高圧トンネルの施工方法	北陸電力	和沢 清吉
13.00~14.00	地下鉄道の掘さく工法	交通営団	西嶋 国造
14.00~15.00	端島炭礦水道における海底掘さくについて	三菱鉱業	
15.00~16.00	大町トンネルにおける止水工法について	中山	敏雄
		関西電力	芳賀 公介

第 3 日 (8 月 29 日 (土))

9.00~10.00	北陸トンネルの工事について	岐阜工事局	上原要三郎
10.00~11.00	黒部川第四発電所地下掘さくについて	関西電力	竹中 徳
11.00~12.00	関門閘道トンネルの掘さくについて	九州地建	住友 彰

- 講演集の内容を豊富にして, 単行本として頒布できるようにする。従つて講演時間をあまりかけないようにする。
- 参考資料の展示を多くするように計画する。
- 映画, スライドなどは講演者と打合せの上きめる。
- 見学会は特に計画しない。

6) 委員の追加および交代を次のとおり委嘱すること。

- 耐震工学委員会委員 篠原 清氏を追加
- 論文抄録委員会委員 木村俊晃氏を芦田和男氏 (土研) と交代

“ 小林国司氏を福井芳朝氏 (農林省) と交代

3. コンクリート常置委員会委員に次の 4 氏を追加

浜本 二郎 東大大学院 (無筋)

岩崎 訓明 “ (“)

吉田 弥智 “ (“)

中村 英夫 帝都高速度交通営団 (鉄筋)

7) 災害および事故調査委員会を設置する, 規程は調査部長の手許で作成する。8) 3 月中会員入退会を承認。

◎各種委員会

1. 第 11 回会誌編集委員会 (昭.34.4.24) 出席者:

国分部長, 田原, 井口正副委員長, 武部, 岡崎 (代畠山), 諫山 (代土居), 尾形, 上東, 都, 南 (代沢井), 大西, 南部 (代西原), 寺島 (代鶴見), 粟津 (代北田), 田村, 樋口, 奥村, 三上, 海保, 三宅の各委員, 後藤 (東北), 山崎 (西部) 両地方委員, 深谷幹事。議事: 1) 投稿原稿の審査報告および審査委員の決定, 2) 依頼原稿の状況, 3) 委員交代について下打合せ, 4) 44 巻 6 号登載原稿を次のとおり予定した。

尾之内由紀夫: 交通シンポジウム——道路——, 白石直文・長谷直樹: 新潟港テトラポット防波堤の設計, 施工について, 吉村善臣: プレストレスト コンクリートのポストテンション工法における引張材の定着装置について, 神谷 洋: 道路技術援助面より見たアフガニスタン, 増山辰夫: 土木工事と会計検査, 岡部三郎: 矢板岸壁の根入および断面決定の速算法, 真田秀吉: 土木という語。

2. 第 11 回会誌編集小委員会 (昭.34.4.8) 出席者:

田原委員長, 岡崎 (代畠山) 委員。議事: 1) 44 巻 4 号ニュースおよび口絵写真の決定, 2) 44 巻 5 号会誌編集につき最終的に打合わせを行つた, 3) その他。

3. 第 11 回文献調査委員会 (昭.34. 4. 3) 出席者:

樋口委員長, 小池, 岩間, 片山, 高秀, 佐藤, 津野, 福沢の各委員, 矢島幹事, 御穂氏 (情報センター)。議事: 1) 44 巻 5 号登載の文献抄録および目録の提出, 2) カードの利用方法につき協議した, 3) 委員交代に関する件, 4) その他。

4. 第 7 回コンクリート常置委員会 (昭.34.4.16) 出席者:

国分副委員長, 関, 河原, 土岐, 塚山, 山崎, 村田, 永倉, 赤塚, 多田, 浅井, 西沢, 堀, 山村 (代太斉)。議事: コンクリート示方書解説 ダムコンクリート 1 条より 36 条まで審議 (担当 関委員)。

5. 第 25 回耐震工学委員会 (昭.34. 4. 6) 出席者:

沼田委員長, 岡本, 村, 平井 (代), 比田, 水越 (代), 寺島, 神谷, 畠山の各委員, 久保, 高田両幹事, 中川東京都水道局技師, 松崎横浜市水道局技師。議事: 1) 2nd WCEE 準備状況報告。a) 米国から論文 26 編到着およ

び日本側の希望論文の問合わせのこと、b) 京阪地区では土木関係論文6編提出予定のこと、c) 組織委員会の運営要項および進行予定計画決定のこと、d) 後援会発会式および募金取扱いに関する内規を決めたこと。2) 土木学会でまとめる論文6編について関係者が会合(4月3日)して、論文内容を決め9月中旬に土木学会に提出することを話合つた。3) 第3回地震工学研究発表会は9月17、18日開催のことに決定。4) 災害および事故調査団派遣規定案を比田委員から提出、理事会の承認を求めること。5) 水道施設的设计震度について、都水道局中川技師、横浜市水道局松崎技師から各種構造物との震度の関係を説明のち質疑応答を交わし、録音して記録を發表することとした。6) 次回は港湾構造物の震度について説明会を開く予定。

6. 第3回土木賞委員会(昭.34.4.15) 出席者: 内海委員長, 秋草, 太田尾, 小田, 小野木, 神谷, 小西, 種谷, 星埜, 荒井, 田中, 内林, 篠原, 国分, 田原, 友永の各委員。議事: 委員の投票 27 通を開票の結果, 授賞論文を次のように決定した。

学会賞

関門海底道路トンネル

関門道路トンネル管理事務所長

中尾 光信

九州地建局長

上ノ土 実

九州地建道路部長

住友 彰

大阪駅の沈下およびこれに伴う被害に関する

研究ならびにその対策について

日本交通技術KK社社長 工博 藤井松太郎

小河内ダム工事報告

東京都水道局長 佐藤 志郎

奨励賞

幅の漸変する水路における水流の遷移現象と

境界特性との関連に関する理論的研究

京都大学助教授 岩佐 義朗

2) 土木賞授賞規程改正に当り授賞の範囲, 審査の方針, 委員の選考等について要望意見が出された。

7. 第3回論文抄録委員会(昭.34.4.28) 出席者: 左合委員長, 久保, 村上, 浅川(幹事兼務), 嶋, 芦田, 明石, 横戸, 春日屋, 千秋, 原田, 色部, 松田, 二階堂, 宮脇, 御巫, 綿田(代白藤), 富永, 伊吹山(代小川), 竹下(代一瀬), 中村(滋), 新谷, 田島, 中村(代林田), 松原(代宮原), 諫山(代佐藤), 松尾(代尾仲), 大島の各委員, 島田, 堀, 浅川の各幹事。議事: 1) 各委員から提出された担当雑誌名資料を逐条照合し加除を確認した, 当日欠席の委員には学会より承諾を求めること, 2) 都市計画部門の委員に八木純一氏(建・総合計画課)を追加すること, 3) 大学および研究所の諸報告書の抄録分担

を決めたので依頼状を出すこと, 4) 分類カードに記入する雑誌名の代りに番号をもつて整理する, その資料はあらためて各委員に配布する, 分類カードは所用概数を手渡し, 欠席委員には議事録とともに送付する, 5) 分類カードにはABCの階級をつけて5月23日(土)までに学会に返送すること, B級は各委員が抄録するから原稿用紙とともにあらためてその委員に送り, 委員は7月末日までに学会に提出すること, 6) 分類カード通信には一定の封筒を使用するよう学会で準備する, 7) 次回は6月3日(水)とする。

◎その他

1. **ハンドブック改訂委員会河川部会**(昭.34.4.1)

2. **昭和34年度科学研究費(各個研究)配分打合せ**(昭.34.4.9)

3. **論文抄録委員会幹事会**(昭.34.4.1・4.11・4.13)

4. **日本工学会理事学協会改選**(昭.34.4.7)は次のように決定した。第1部門 日本物理学会, 第2部門 日本鉱業学会, 第3部門 日本機械学会, 第4部門 土木学会, 第5部門 信号保安協会, 第6部門 日本化学会

5. **夏季講習会担当理事打合せ**(昭.34.4.14)

6. **関東地区常議員候補者詮衡委員会**(昭.34.4.20)

出席者: 本間委員長, 仁杉, 加藤(代長尾), 川口, 粕谷の各委員。議事: 改選を要する9名の候補者を詮衡し,

5月12日までに投票を求めることとなつた。

7. **学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会**(昭.34.4.25) 学術会議第2会議室で開催, 今秋の研究発表会を9月14日, 課題「プレストレス構造」, 会場 日本建築学会会議室とし, 講演応募公告することを決めた。

8. **水力学・水理学における境界層理論の応用に関するシンポジウム**(昭.34.4.28, 学術会議講堂において)

日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会, 土木学会水理研究会との共催。題目および講師(1) 開水路における乱流境界層の乱れの測定 東大大学院 日野幹雄,

(2) 開水路水流における境界層理論の応用 京都大学 岩佐義朗, (3) ディフェューザーにおける境界層 名古屋大学 古屋善正, (4) 模型船の周りの境界層 東京大学 乾 崇夫, (5) 船の摩擦抵抗に関する最近の問題 大阪大学 笹島秀雄(講演概要 200円)。

支 部 だ よ り

関西支部 第5回商議員会(昭.34.4.18) 大阪建設会館において, 出席者: 商議員一小幡, 川崎, 神田, 柳瀬, 宗宮, 中村, 福山, 倉田, 合田, 石原支部長, 近藤幹事長, 幹事一石田, 伊藤, 大島, 別所, 松尾, 井部の諸氏。幹事異動: (新任) 井部勇一氏 近畿地建企画室長, (退任) 大島哲男氏。

名誉員	島 重 治 君	松坂市殿町 1268	昭和 34 年 4 月 17 日逝去	86 才
正 員	宮 崎 正 夫 君	北海道大学工学部講師	昭和 33 年 10 月	逝去 66 才
正 員	三 枝 精 一 君	三井建設KK札幌支店	昭和 34 年 3 月 18 日逝去	31 才